

「地域で育む健康・未来」健康未来へソーシャルキャピタル／手をたずさえて

# 第13回 地域保健全国大会

日時／平成22年11月2日(火)  
会場／朱鷺メッセ(スノーホール)

9:00 開場

10:00 開会

1. 挨拶

厚生労働大臣、新潟県知事、新潟市長、主催団体代表

2. 表彰

- 厚生労働大臣表彰  
〔公衆衛生事業功労者〕
- 財団法人 日本公衆衛生協会会長表彰  
〔公衆衛生事業功労者〕、〔衛生教育奨励賞〕
- 社団法人 全国地区衛生組織連合会会長表彰  
〔地区衛生組織活動功労者〕

3. 来賓祝辞

新潟県議会議長、新潟市議会議長

11:00

4. 記念講演

「直江兼統の治世～公の立場から」 講師 火坂 雅志氏(作家)

12:00

— 休憩 (60分) —

13:00

5. ほっとブレイク

井上 静香、菅谷 史(バイオリン演奏)

13:30

6. 特別講演

「健康格差社会」への処方箋～地域づくりとヘルスプロモーション  
講師 近藤 克則氏(日本福祉大学教授)

15:00

— 休憩 (15分) —

15:15

7. シンポジウム

「ソーシャルキャピタルと地域の健康づくり」

- コーディネーター 近藤 克則(日本福祉大学教授)  
月岡 恵(新潟市保健所長)
- シンポジスト 田代 敦志(新潟市保健所医監)  
関川 弘雄(新潟市住みよい郷土推進協議会)  
二木 ちどり(いきいき西区ささえあいプラン推進委員)
- 指定発言 竹内 裕(助長野県健康づくり事業団)

16:30

閉会

主催 厚生労働省、新潟県、新潟市、財団法人日本公衆衛生協会、財団法人健康・体力づくり事業財団、社団法人全国保健センター連合会、社団法人全国地区衛生組織連合会  
後援 総務省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、社団法人日本医師会、新潟県市長会、新潟県町村会、社団法人新潟県医師会、他

【大会事務局】第13回地域保健全国大会 事務局(新潟市保健所 食品・環境衛生課 生活環境係内) TEL:025-212-8240/FAX:025-246-5673

お申込・お問い合わせ JTb関東 法人営業新潟支店 「第13回地域保健全国大会係」(担当:三谷・後藤・宇田)  
〒950-0082 新潟県新潟市中央区東方代町1-30-3F TEL:025-255-5101/FAX:025-248-7687  
E-mail:niigata\_ec@web.jtb.jp 営業時間:月～金 9:30～17:30、土曜・日曜祝祭日は休業

記念講演

火坂雅志氏

小説家。1956年、新潟市生まれ。早稲田大学商学部卒業。「別冊歴史読本」副編集長をつとめたのち、『花月秘拳行』で作家デビュー。「新潟日報」朝刊ほか全国13紙に、上杉謙信の義の心を受け継いだ直江兼統の生涯を描く『天地人』を連載。このたび、同作品が2009年度NHK大河ドラマの原作に決定。歴史小説界の旗手として注目されている。著書は、『天地人』上・下(NHK出版)『黒衣の宰相』(文藝春秋)『黄金の華』(文藝春秋)『沢彦(たくげん)』(小学館)『全宗』(小学館)『家康と権之丞』(朝日新聞社)『虎の城』上・下(祥伝社)『覇者の門』(祥伝社)『社心の夢』(徳間書店)『骨董屋征次郎手控』(実業之日本社)『臥竜の天』上・下(祥伝社)など多数。『天地人』上・下で第13回中山義秀文学賞受賞。



特別講演

近藤克則氏

1983年千葉大学医学部卒業。東京大学医学部付属病院リハビリテーション部 医員、船橋二和(ふたわ)病院リハビリテーション科科長などを経て、1997年日本福祉大学助教授。University of Kent at Canterbury(イギリス)客員研究員(2000-2001)を経て、2003年4月から教授。現在日本福祉大学 大学院 医療・福祉マネジメント研究科長、健康社会研究センター長。博士(医学)、博士(社会福祉学)。「健康格差社会—何が心と健康を蝕むのか」(医学書院、2005)で社会政策学会賞(奨励賞)受賞。「検証「健康格差社会」—介護予防に向けた社会疫学の大規模調査」(医学書院、2007) 朝日新書「健康格差社会」を生き抜く(朝日新書、2010)



シンポジウム

関川弘雄氏



前新潟大学大学院医学総合研究科助教授(医学博士) 40年余にわたり「新潟県におけるツツガムシとツツガムシ病の調査」、「牧野における吸血性害虫の防除」、「マラリアの疫学調査・感染防御機構の解明」など衛生動物や寄生虫病の研究に従事。現在新潟大学医学部、新潟医療技術専門学校、新潟調理師

専門学校などで非常勤講師を務める。新潟市中央区自治協議会会長、新潟市住みよい郷土推進協議会副会長(中央支部長)、新潟市青少年育成協議会理事、関屋中学校青少年育成協議会副会長、有明台小学校校区コミュニティ協議会会長、新潟中央防犯協会連合会理事、助新潟県保健衛生センター評議員、社会福祉法人新潟しなの福祉会理事などに就任し、それらの諸団体を通じ、住民や地域のつながり、環境問題、青少年の健全育成、犯罪防止、高齢者や精神障がい者への支援など広く活動を行っている。



二木ちどり氏

主婦(新潟市西区在住) いきいき西区ささえあいプラン推進委員会委員、新潟市健康づくり推進委員会委員、新潟市食生活改善推進委員協議会会長、新潟県食生活改善推進委員協議会副会長

平成10年 新潟市保健所主催の健康栄養セミナー—修了食生活改善推進委員として「生涯にわたる健康づくり」を目的に地域に密着したボランティア活動を始める。  
平成18年 新潟市食生活改善推進委員協議会会長就任  
平成21年 西区健康づくりウォーキングロードマップ作成実行委員として作成事業に関わる  
食のボランティアとして「私たちの健康は私たちの手」をスローガンに、生涯における健康づくり活動を食を通して地域において推進している傍らコミュニティ協議会の事業等に積極的に参加・協力している。



竹内 裕氏

1973年新潟大学医学部卒業。水原郷病院産婦人科医長、香川医科大学母子科学講座講師などを経て、2002年新潟市民病院産婦人科部長。2004年より新潟市保健所長として81万市民の安心安全を守る要職を務め、2009年の新型インフルエンザ流行時には健康危機管理対応の中心として陣頭指揮にあたる。2010年8月より長野県健康づくり事業団 長野健康センター所長。医学博士。



ほっとブレイク

井上静香氏



新潟市出身。桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。1993年新潟県音楽コンクール大賞受賞。第72回読売新人演奏会出演。米アスペン音楽祭に2000年いしかわミュージックアカデミーよりIMA賞を授与され奨学金を得て参加。在学中から「JTが育てるアンサンブルシリーズ」、プロジェクトQ、大垣音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、東京のオペラの森、芦ノ湖音楽祭(リサイタル)、木曾音楽祭、水戸室内管弦楽団定期演奏会など多数に出演。ロバート・マンズ、原田禎夫氏等と室内楽を共演。ウィーンフィルの首席メンバーと室内楽を共演し信頼を得る他、マスタークラスでウィーンフィルの名コンサートマスター、ワルター・バリリ氏に絶賛された。ヴァイオリンを小林すぎ野、鷺尾悠子、原田幸一郎、加藤知子の各氏に、室内楽を店村眞積、山崎伸子、ゴールドベルク山根美代子の各氏に師事。



菅谷 史氏

千葉県茨原市出身。6歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学カレッジディプロマコース修了。同大学室内楽演奏会出演。第49、50回「全日本学生音楽コンクール」入選。第7回大垣音楽祭新人コンサートに優秀者として出演。倉敷音楽祭、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、東京のオペラの森、水戸室内管弦楽団、2002年2005年ロストロポービッチ率いるキャラヴァンコンサートにてコンサートミストレスを務める。これまでに桜木弘子、鈴木愛子、鷺見健彰、磯野順子、原田幸一郎の各氏に師事。現在フーランドで、ソロ、室内楽、オーケストラなどで活躍。



大会会場

朱鷺メッセへの交通アクセス

- 新潟駅から バス(佐渡汽船行) ……約10分  
タクシー ……約5分  
徒歩 ……約20分
- 新潟空港から バス(新潟駅まで) ……約25分  
タクシー ……約20分



〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1  
TEL 025-246-8400 FAX 025-246-8411  
URL <http://www.tokimesse.com/>  
E-mail [mail@tokimesse.com](mailto:mail@tokimesse.com)